

編集後記

近年、筆者の専門分野であるエネルギー関連分野で注目されているのが、燃料電池車（FCV）のリリースです。日本でも固体高分子型搭載車の来年の発売がプレスリリースされており、また、この流れによって急ピッチで計画が進んでいるのが、水素ステーションの建設で、2020年までに40kmメッシュでの建設を目標に計画が進行中だそうです。人口当たりの国土の狭い日本は、水素ステーションの建設や現在のFCVの航続距離の性能などを考慮すると、非常に好都合であり、FCVが普及するのであれば、日本からであろうと言われていました。

また、2011年に家庭用燃料電池がリリースされており、主流は作動温度が700℃～800℃である固体酸化型燃料電池が使用されており、発電部よりも大きな容積を占めているのが、電池排熱を利用した貯湯部で、お湯をどれだけ使用するかが、電池効率に大きく影響を受けます。毎日、大多数の人がお風呂に入る文化のある日本は、家庭用燃料電池に向いていると言えます。FCVにしても、家庭用にしても、日本人と燃料電池は相性が良く、近い将来、うまく水素エネルギーを活用した日本独自のライフスタイルが確立するかもしれないと、筆者は期待しております。

(丹羽 栄貴)

【複写される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です。)

権利委託先：(中法) 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル, TEL. 03-3475-5618, FAX. 03-3475-5619, E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A. FAX. +1-978-646-8600

2014年度「熱測定」編集委員会

(委員長) 山崎 淳司

(編集委員) 伊豆津 健一, 木村 二三夫, 中澤 康浩, 丹羽 栄貴, 林 英子, 藤代 史

(拡大編集委員) 飯島 美夏, 乾 隆, 小川 英生, 清水 由隆, 橋本 拓也, 森川 淳子

熱測定 Vol.41, No.3, 2014

昭和52年5月27日 第4種郵便物(学術刊行物)認可

平成26年7月20日 印刷

平成26年7月25日 発行

発行人 日本熱測定学会 木村 隆良

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビル601
TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 E-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 E-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <http://www.netsu.org/>

郵便振替口座 00190-5-110303